

---

# 仮面ライダーW ~ Another World Returns ~

亀鳥虎龍

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

仮面ライダーW Another World Returns

### 【Nコード】

N9324Z

### 【作者名】

亀鳥虎龍

### 【あらすじ】

神都を護る戦士『仮面ライダー』そんな彼等を待ち受ける物語が今、再び始まった。

『仮面ライダーW Another World story』  
の続編始動！ 格ライダーの物語を中心に再始動する！！

1 - 1話：切り開くF / 巻き込まれた男（前書き）

あの物語が再び！

## 1 - 1話：切り開くF / 巻き込まれた男

ユーノ・スクライア……上条当麻の相棒にして、高町なのはを妻に持つ青年。

そんな彼は、養子のヴィヴィオとなのはが宿した新たな命の父親でもある。

今回は、彼を中心にした物語が始まったのであった。

切り開くF / 巻き込まれた男

藍染惣右介率いる組織の起こした『英霊の記憶』事件から数日後…

「ふうー、こんなモノかな？」

ユーノ・スクライアは、相棒の上条当麻と共に久々の『万時屋』家業に勤しんでいた。

すると、突如電話が鳴り出した。

「もしもし？」

受話器を手に取ったユーノ。

『僕だ』

電話の相手は悪友のクロノ・ハラオウン。

「何だお前か？」

『随分な挨拶だな。折角仕事の依頼を持って来てやったのに』

それを聞いたユーノは、溜め息まじりでこう言った。

「で、依頼は？」

『実は新しい資料が届いているんだが、中々まとまっていらないんだ』

「その資料の片付けの手伝いをして欲しいと？」

『そうなるな』

「分かったよ。ただし、報酬は弾めよ」

そう言っただけで電話を切り、ユーノはすぐさまコートを羽織った。

「じゃあ、当麻君。行ってくるよ」

「気を付けるよ。後今日は出産日だからな」

「分かってるよ」

実はなのはは、新たな命を身籠っていて、その出産のために病院に入院しているのである。

以前ユーノは、なのはと“一緒に出産に立ち会う”という約束をしていたので、今日はその約束の日なのであった。

警視庁の資料室に入ったユーノであったが、

「な……何これ？」

分厚すぎる資料の量に驚きを隠せなかった。

「実は整理を頼んでいた刑事が仕事をサボったのでな……全く整理できてないのだ」

「何処のどいつだよその刑事は！」

「無論、そいつらにも然るべき処分をする」

因みにサボった刑事というのは、石垣と真倉である。

「分かったよ、出来るだけ半分以上に減らすから」

「そうしてくれ、報酬は高く払うから」

そう言ってクロノは資料室を後にし、ユーノは資料の整理を急いだのであった。

一方その頃、病院では……

「そっか……ユ一ノ君、来れないのか」

出産を迎えているのはな、夫が来ない事で少し寂しくなった。

「心配すんな。アイツは約束を破るようなヤツじゃないからな」

それを聞いたなのはは、少し元気になった。

「んじゃ、俺は一回事務所に戻るけど……何かあったら呼んでくれよな」

そう言って上条は病室を後にした。

資料室で資料の整理を行っていたユーノ。

「ふう……やっとこんなモンか」

そう言って先程の2分の1を片付けたのである。

すると、一人の人物が現れた。

「失礼するよ」

この街の警視庁の刑事・笹塚衛士であった。

「はい、これ差し入れ」

そう言って笹塚は、缶コーヒーを彼に渡した。

「あ、すみません」

「まあ、本来は俺達警察のやることだからな。      キレの良いところ  
で止めても構わないよ」

笹塚は最後にそう言って立ち去ったのであった。

「よし、早く終わらせないとな」

再びユーノは資料に目を通したのであった。

資料の整理を行って30分後。

「ユーノ君、差し入れ持ってきたで」

そう言つて八神はやてが弁当を持ってきたのである。

「すまないはやて」

「ええよ、ええよ。これくらいは朝飯前や」

するとはやては、資料室に目をやると、

「大分片付いたんやな」

「まあね」

「ユーノ君、何時も思ってたことやけど……」

「ん？」

「ユーノ君は何でもかんでも背負い過ぎや、少しは誰かに甘えたりせえへんの？」

「そ、それは……無いかな……甘えたくても甘えられなかったから」

「あ……スマン、つい……」

「良いよ、はやてだって悪気は無かったんだし」

「じゃあ、私は失礼するで」

そう言うてはやては資料室を後のした。

一方の警視庁内では、覆面を被った男達が銃を持っていた。

「俺達は『避ける鬪魂』だ！ この警視庁は俺達が支配した！！！」

そう言っつて引き金を引いたのであった。

「わああああああ」

「きゃーーーーーー！！！」

「騒ぐんじゃネエエエエエエ！！！」

テロリストに占拠された警視庁は一体どうなるのであろうか、そしてユーノの運命は！？

〈3年W組 上条先生〉

上条

「はい、皆さんお久しぶりです。久々にご登場させていただきましたので一つだけ言っておこうと思います。この小説は文が短いので、『上条先生』で行数を稼いでいるのでご注意ください貰いたいです。以上！」

一方通行

「……………大丈夫かよ、この小説？」

上条

「大丈夫だ……………多分」

一方通行

「多分かよ!？」

1 - 1話：切り開くF / 巻き込まれた男（後書き）

次回、切り開くF / 強がらなくても良い

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9324z/>

---

仮面ライダーW ~ Another World Returns ~

2011年12月29日06時48分発行